

令和7年（2025年）8月11日に 熊本県に大雨特別警報を発表した事例

令和7年10月 気象庁大気海洋部

気象と災害の概況

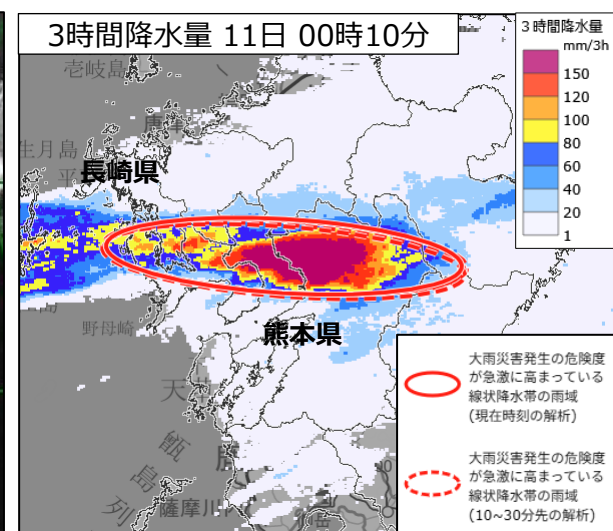
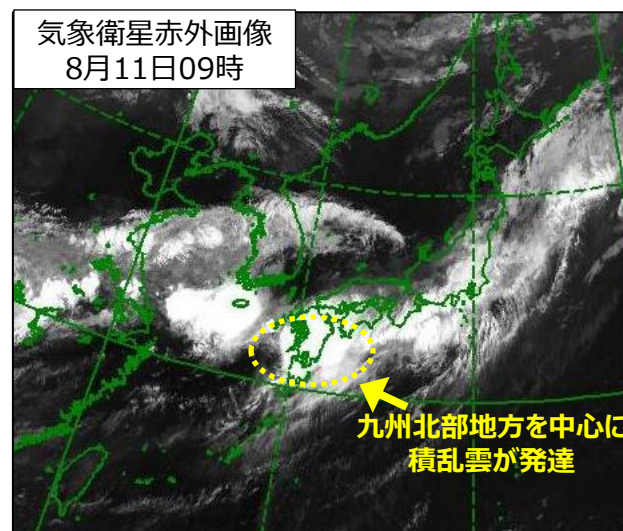
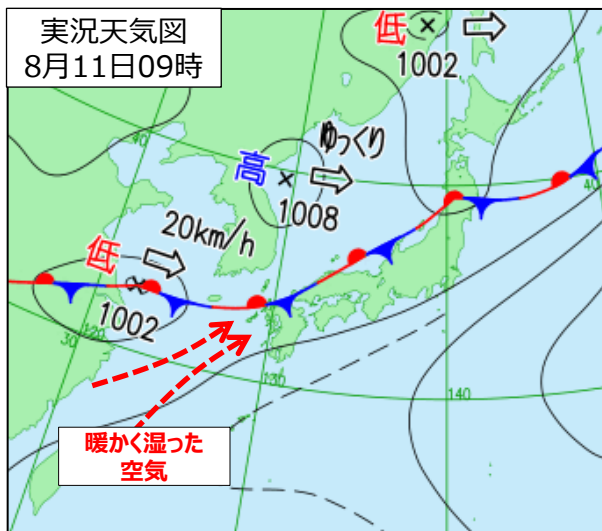
■ 概要

- 8月6日から8月12日にかけて、日本付近に停滞した前線の活動が活発となった。9日から11日は前線が九州付近に停滞して、九州北部地方を中心に非常に激しい雨※1や猛烈な雨※2が降った。
- 九州北部地方では9日夜遅くから11日にかけて線状降水帯が繰り返し発生し、熊本県では、3時間降水量で200ミリ、24時間降水量が500ミリを超えるなど、観測史上1位の値を更新した地点があり、記録的な大雨となった。この大雨において、熊本県では、大雨災害の危険度が非常に高くなり、さらに激しい雨が降り続いて重大な災害のおこるおそれが著しく高まったことから、11日未明から昼前にかけて熊本県の5市2町（玉名市、長洲町、八代市、宇城市、氷川町、上天草市、天草市）に大雨特別警報を発表した。
- この大雨の影響で、熊本県では、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。

※1 非常に激しい雨：1時間に50mm以上80mm未満の雨 ※2 猛烈な雨：1時間に80mm以上の雨

■ 人的・住家被害の状況（令和7年8月18日7時00分内閣府とりまとめによる） 熊本県のみ抜粋

- 死者4人、負傷者10人、住家全壊3棟、住家半壊5棟、床上浸水1,669棟、床下浸水1,665棟



8月11日に熊本県に対して特別警報を発表した際の気象状況

左：実況天気図 中央：気象衛星赤外画像 右：3時間降水量（気象レーダーによる解析）

大雨特別警報発表状況と降水量について

■大雨特別警報の発表状況

都道府県	発表地域	発表時刻	警報への切替時刻
熊本県	玉名市、長洲町	8月11日00時20分	8月11日15時45分
	八代市、氷川町、宇城市	8月11日05時25分	
	上天草市	8月11日08時10分	
	天草市	8月11日09時15分	



■8月6日から12日にかけての降水量について

熊本県の降水量期間合計値（熊本県内の多いところ上位4地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	8月平年値 (mm)
熊本県	上益城郡甲佐町	甲佐（コウサ）	690.5	190.0
熊本県	上益城郡山都町	山都（ヤマト）	665.0	234.0
熊本県	八代市	八代（ヤツシロ）	598.0	203.7
熊本県	熊本市中央区	熊本（クマモト）	595.0	195.4

熊本県の24時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	日時分 (まで)
熊本県	玉名市	岱明（タイメイ）	453.5	8/11 14:10
熊本県	上益城郡山都町	山都（ヤマト）	423.0	8/11 14:20
熊本県	上益城郡甲佐町	甲佐（コウサ）	377.5	8/11 14:10
熊本県	上益城郡益城町	益城（マシキ）	354.0	8/11 14:50

熊本県の3時間降水量期間最大値（観測史上1位を更新した地点）

都道府県	市町村	観測地点	降水量 (mm)	日時分 (まで)
熊本県	玉名市	岱明（タイメイ）	284.0	8/10 23:50
熊本県	上天草市	松島（マツシマ）	239.0※	8/11 08:10
熊本県	熊本市中央区	熊本（クマモト）	223.0	8/11 01:00
熊本県	菊池市	菊池（キクチ）	211.5	8/10 24:00
熊本県	上益城郡益城町	益城（マシキ）	210.5	8/11 01:00
熊本県	八代市	八代（ヤツシロ）	198.0	8/11 09:50
熊本県	天草市	本渡（ホンド）	180.5	8/11 09:10
熊本県	宇城市	三角（ミスミ）	153.0	8/11 05:10
熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	南阿蘇（ミナミアソ）	145.5	8/11 00:50

※ 観測資料の一部が欠測。

雨量の予想と実際の状況について

- 九州北部地方に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、熊本県では大雨となることを予想し、8日夕方発表の気象情報で、11日頃にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水への注意を呼びかけていた。また、10日昼前には、線状降水帯発生の可能性に言及した気象情報を発表し、土砂災害への警戒、低い土地の浸水、河川の増水への注意を呼びかけた。
- 実際には、大雨特別警報を発表した地域では、10日夜遅くから11日昼前にかけて、線状降水帯の発生が続き、非常に激しい雨や猛烈な雨が降り続いたことで、予想を大きく上回る雨量となり、11日12時までの24時間に500ミリを超える記録的な大雨となった。

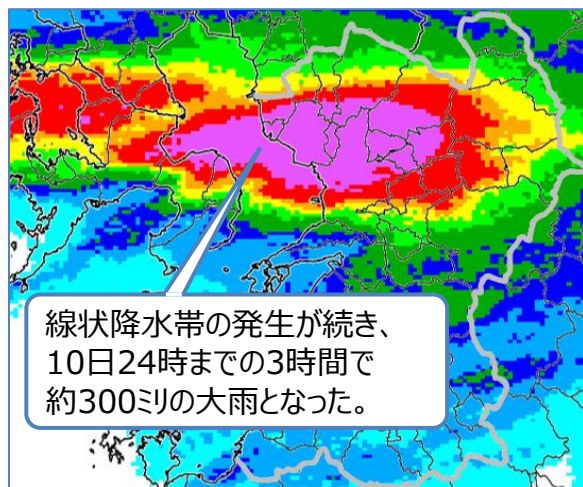
10日昼前の時点の予想 3 時間雨量（多い所）

10日～11日	18時～24時	00時～06時	06時～12時
熊本県	70 ミリ	70 ミリ	70 ミリ

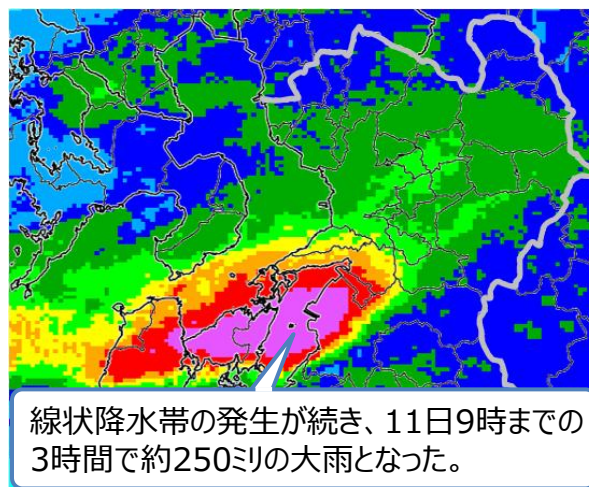
10日昼前の時点の予想24時間雨量（多い所）

	11日12時まで
熊本県	200 ミリ

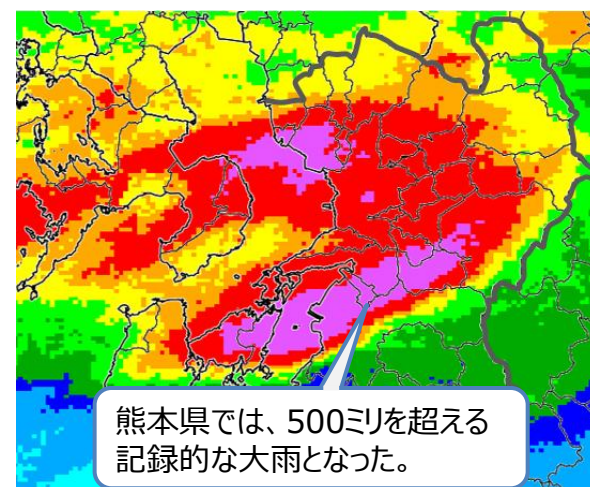
10日24時までの3時間雨量（実況*）



11日9時までの3時間雨量（実況*）



11日12時までの24時間雨量（実況*）



0.4 2 10 20 40 60 80 100 160 mm

0.4 2 10 20 40 60 80 100 160 mm

0.4 5 25 50 100 150 200 250 400 mm

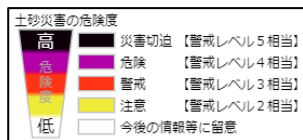
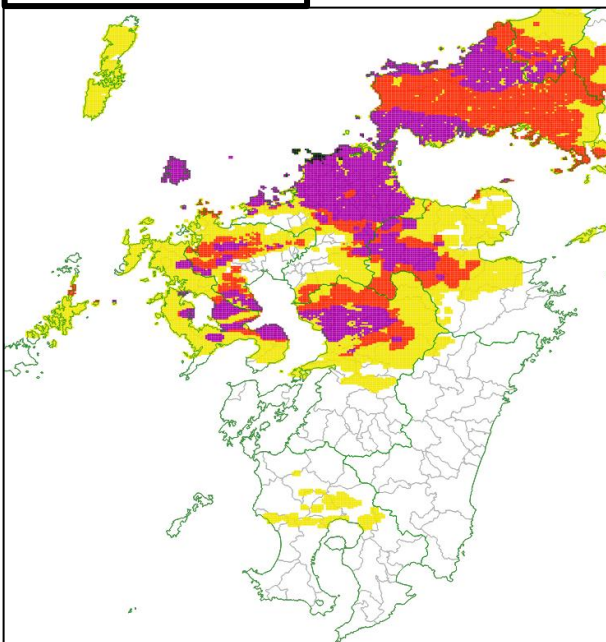
熊本県では10日夜遅くから11日昼前にかけて、線状降水帯が連続して発生した。

* 実況の雨量はいずれも解析雨量による。

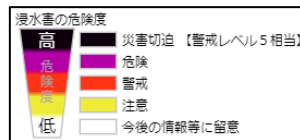
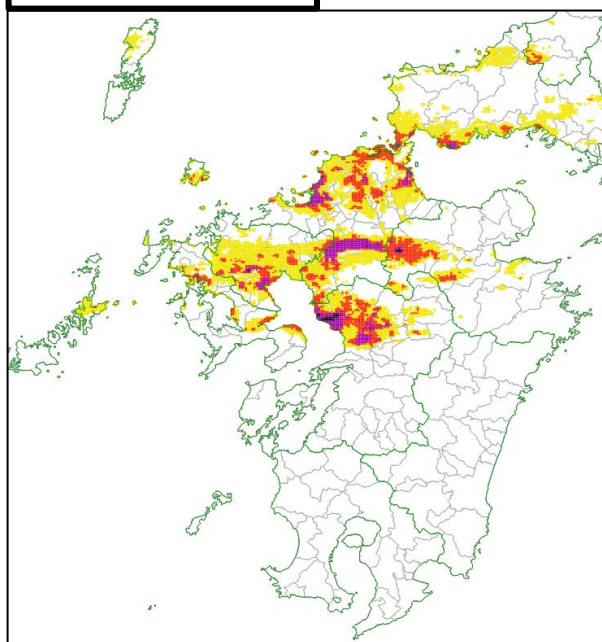
キキクル（危険度分布）の状況

8月10日：福岡県では土砂・洪水キキクルで、熊本県では浸水・洪水キキクルで、大分県では、洪水キキクルで黒（災害切迫）が出現した。

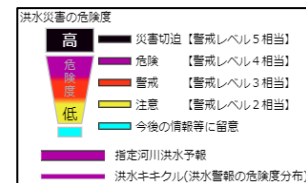
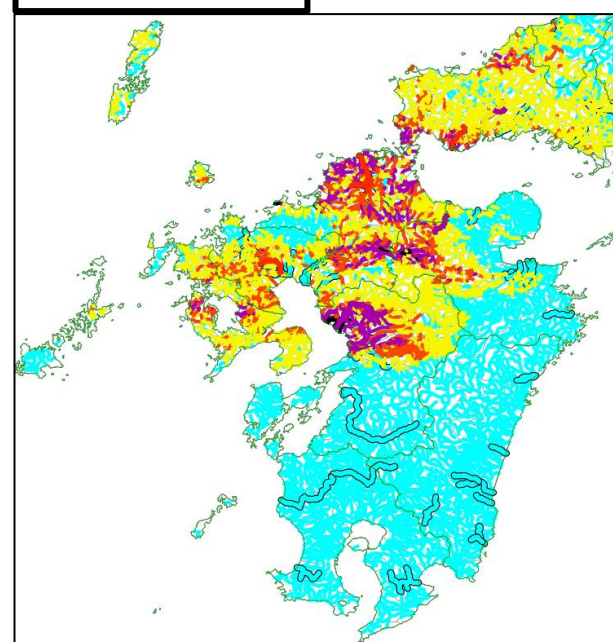
土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル

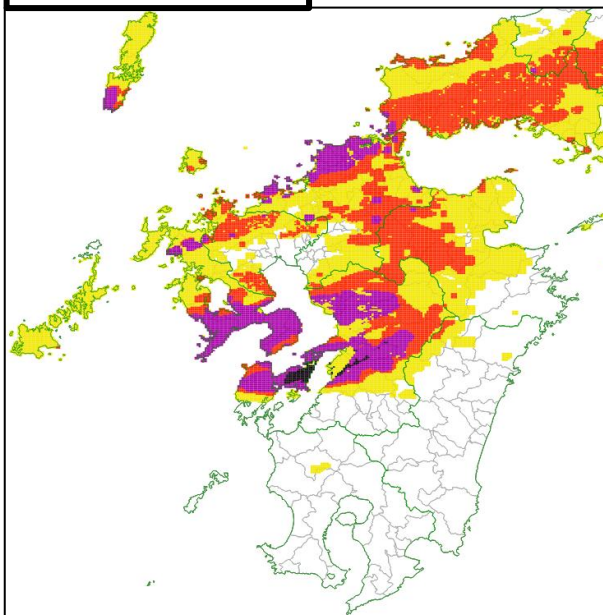


8月10日0時から24時にかけて出現した各格子・各流路ごとの最大の危険度

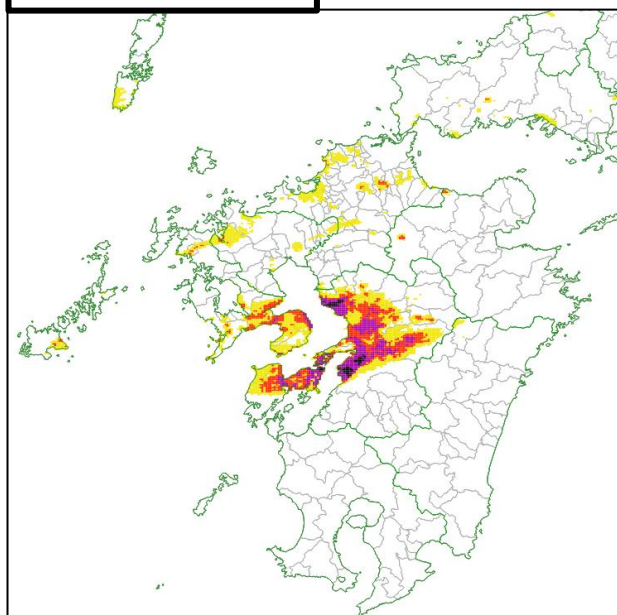
キキクル（危険度分布）の状況

8月11日：熊本県では土砂・浸水・洪水キキクルの全てにおいて黒（災害切迫）が出現した。

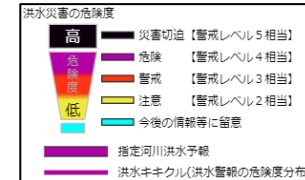
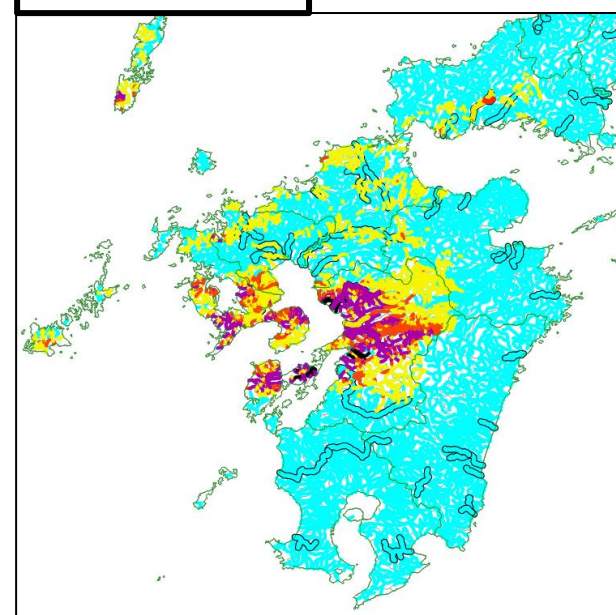
土砂キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



8月11日0時から24時にかけて出現した各格子・各流路ごとの最大の危険度

線状降水帯に関する情報の発表状況

○ 線状降水帯に関する情報の発表状況

地方予報区	府県予報区※1	半日程度前からの呼びかけ※2、※3	顕著な大雨に関する気象情報※4	3時間降水量の最大値※5、※6
九州北部地方 (山口県を含む)	熊本県	8月10日11時04分	8月10日22:07 (熊本地方) 8月11日01:17 (熊本地方) 8月11日04:37 (熊本地方) 8月11日05:37 (熊本地方、天草・芦北地方) 8月11日08:47 (熊本地方、天草・芦北地方)	約250ミリ ^{※7}

※1 鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表する。

※2 一連の現象で複数回呼びかけた場合は、最初の呼びかけ日時のみ掲載。

※3 全般気象情報、地方気象情報、府県気象情報のうち、一番早く発表された情報の時刻を掲載。

※4 線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表する※8。

① 前3時間積算降水量(5kmメッシュ)が100mm以上の分布域の面積が500km²以上

形状の基準

② ①の形状が線状(長軸・短軸比2.5以上)

③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上

雨量の基準

④ ①の領域内の土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)において土砂災害警戒情報の基準を超過(かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上)又は洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)において警報基準を大きく超過した基準を超過

危険度の基準

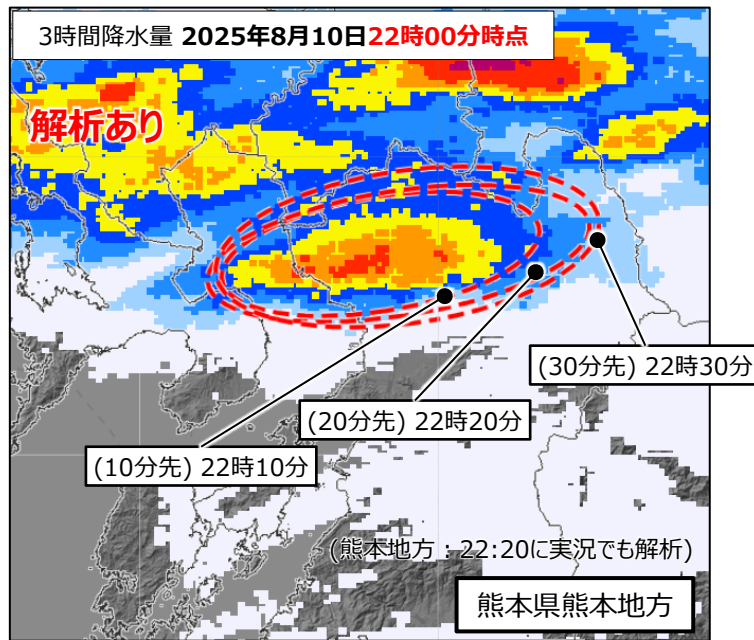
※5 顕著な大雨に関する気象情報の発表をした事例については、線状降水帯の雨域における3時間降水量の最大値を示している。

※6 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については、期間中雨量が多かった時間帯における3時間降水量の最大値を示している。

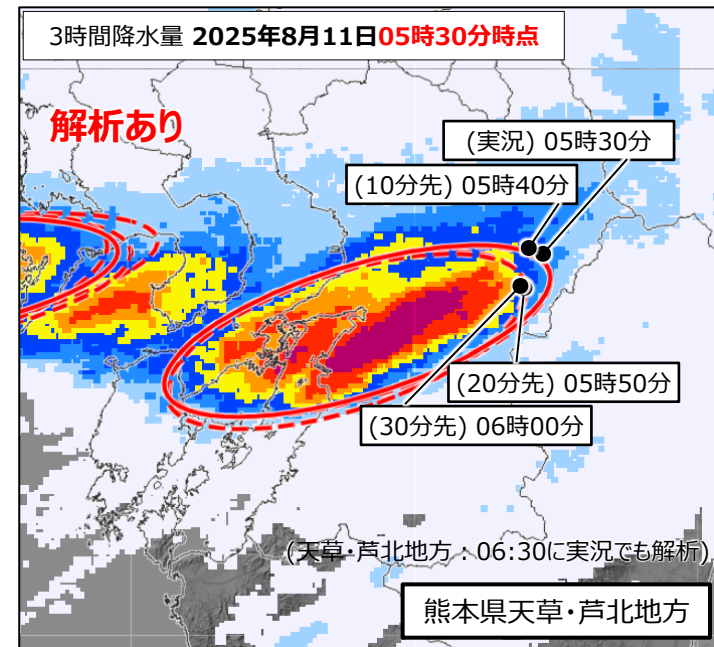
※7 10～30分先に基準を満たすとして「顕著な大雨に関する気象情報」を発表した場合、実際には前3時間降水量積算値が150mmに達しないことがある。

※8 情報を発表してから3時間以上経過後に発表基準を満たしている場合は再発表するほか、3時間未満であっても対象区域に変化があった場合は再発表する

線状降水帯の解析状況（九州北部地方 8月10日～11日）



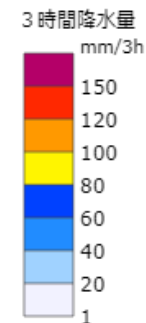
線状降水帯の雨域における3時間降水量の
最大値は**約250ミリ**



線状降水帯の雨域における3時間降水量の
最大値は**約200ミリ**

- ・ 顕著な大雨に関する気象情報の発表をした事例については、それぞれの地域における、当該情報の発表に用いた線状降水帯の雨域(ラベル付き)及びその解析された時刻を示している。
- ・ 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したものの、顕著な大雨に関する気象情報を発表しなかった府県予報区については「解析なし」とし、期間中雨量が多かった時間帯の雨量の状況を表示している。
- ・ 各府県予報区の3時間降水量の最大値は5kmメッシュに平滑化した値を記述しており、1kmメッシュの3時間降水量分布図の最大値と一致しない場合がある。

※雨量の基準は超えたが顕著な大雨に関する気象情報が発表されなかった場合は、満たさなかった基準を記す。



- 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（現在時刻の解析）
- 大雨災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域（10～30分先の解析）